

令和3年12月22日

衆議院議員
森 英 介 様

茂原市議会議員 中山 和夫



二級河川一宮川水系河川の整備促進に関する要望書

本市では、過去に度々浸水被害が発生しており、平成元年8月台風12号、平成8年9月台風17号、平成25年10月台風26号及び令和元年10月25日の大雨と4度にわたり甚大な浸水被害を受けました。

平成元年及び平成8年の水害の際には「河川激甚災害対策特別緊急事業」が実施され、平成25年の台風26号の際には「100ミリ安心プラン」が登録され、二級河川一宮川の改修、堤防の嵩上げ、調節池の増設が実施されているところです。

しかしながら、令和元年10月25日の大雨では、市内の二級河川一宮川水系の数箇所河川が氾濫し、3名の尊い命が犠牲となり、浸水区域は約1,200ヘクタールにおよび、約3,700戸の住居等が床上床下の浸水被害を受けました。また、国県道を含む主要な道路が長時間に渡り冠水し、市内の交通網は麻痺状態に陥り、住民活動に大きな影響を与えました。

そこで、更なる流域の安全安心を確保するため、「一宮川水系流域治水プロジェクト」に基づき現在実施している整備事業に加え、今回採択された「河川激甚災害対策特別緊急事業」に位置付けられている河道拡幅や護岸法立等対策が着実に実施されるとともに、河川整備計画が未策定である上流域及び支川についても早期の計画策定が望まれております。

また、一宮川水系における中流域は、一宮川本線に支川が集まる地理的要因による浸水リスクがあるため、これらの浸水リスクを解消するため、中流域から太平洋まで伸びる新たな導水路の整備を検討する必要があると考えます。

本市にとって一宮川水系河川の改修は、住民の生命と財産を守るための生命線であり、全市民が一日も早い洪水被害の解消を強く待ち望んでおります。

これらのことから、一宮川河川改修事業の早期完成のため、大幅な予算の増額等の特段のご配慮を賜わり、下記事項を実施されるよう強く要望いたします。

記

1. 地域住民の生命と財産を守り、安全で活力ある経済社会を実現するため、河川整備計画未策定区間の計画策定を早期に行い、「一宮川水系流域治水プロジェクト」による治水事業を強力に推進すること
2. 地理的要因による浸水リスクを解消するため、中流域から太平洋まで伸びる新たな導水路（河川）の整備を検討すること
3. 防災・減災、国土強靱化のための5か年加速化対策に基づき、継続的に事業の推進を図ること
4. 一宮川河川改修事業の早期完成のため、大幅な予算の増額を図ること
5. 事業の実施においては、自然環境や生活環境に十分配慮した対策を講じること

参議院議員
石井 準一 様

茂原市議会議員 中山 和夫



二級河川一宮川水系河川の整備促進に関する要望書

本市では、過去に度々浸水被害が発生しており、平成元年8月台風12号、平成8年9月台風17号、平成25年10月台風26号及び令和元年10月25日の大雨と4度にわたり甚大な浸水被害を受けました。

平成元年及び平成8年の水害の際には「河川激甚災害対策特別緊急事業」が実施され、平成25年の台風26号の際には「100ミリ安心プラン」が登録され、二級河川一宮川の改修、堤防の嵩上げ、調節池の増設が実施されているところです。

しかしながら、令和元年10月25日の大雨では、市内の二級河川一宮川水系の数箇所河川が氾濫し、3名の尊い命が犠牲となり、浸水区域は約1,200ヘクタールにおよび、約3,700戸の住居等が床上床下の浸水被害を受けました。また、国県道を含む主要な道路が長時間に渡り冠水し、市内の交通網は麻痺状態に陥り、住民活動に大きな影響を与えました。

そこで、更なる流域の安全安心を確保するため、「一宮川水系流域治水プロジェクト」に基づき現在実施している整備事業に加え、今回採択された「河川激甚災害対策特別緊急事業」に位置付けられている河道拡幅や護岸法立て等の対策が着実に実施されるとともに、河川整備計画が未策定である上流域及び支川についても早期の計画策定が望まれております。

また、一宮川水系における中流域は、一宮川本線に支川が集まる地理的要因による浸水リスクがあるため、これらの浸水リスクを解消するため、中流域から太平洋まで伸びる新たな導水路の整備を検討する必要があると考えます。

本市にとって一宮川水系河川の改修は、住民の生命と財産を守るための生命線であり、全市民が一日も早い洪水被害の解消を強く待ち望んでおります。

これらのことから、一宮川河川改修事業の早期完成のため、大幅な予算の増額等の特段のご配慮を賜わり、下記事項を実施されるよう強く要望いたします。

記

1. 地域住民の生命と財産を守り、安全で活力ある経済社会を実現するため、河川整備計画未策定区間の計画策定を早期に行い、「一宮川水系流域治水プロジェクト」による治水事業を強力に推進すること
2. 地理的要因による浸水リスクを解消するため、中流域から太平洋まで伸びる新たな導水路（河川）の整備を検討すること
3. 防災・減災、国土強靱化のための5か年加速化対策に基づき、継続的に事業の推進を図ること
4. 一宮川河川改修事業の早期完成のため、大幅な予算の増額を図ること
5. 事業の実施においては、自然環境や生活環境に十分配慮した対策を講じること

参議院議員
豊田 俊郎 様

茂原市議会議員 中山 和夫



二級河川一宮川水系河川の整備促進に関する要望書

本市では、過去に度々浸水被害が発生しており、平成元年8月台風12号、平成8年9月台風17号、平成25年10月台風26号及び令和元年10月25日の大雨と4度にわたり甚大な浸水被害を受けました。

平成元年及び平成8年の水害の際には「河川激甚災害対策特別緊急事業」が実施され、平成25年の台風26号の際には「100ミリ安心プラン」が登録され、二級河川一宮川の改修、堤防の嵩上げ、調節池の増設が実施されているところです。

しかしながら、令和元年10月25日の大雨では、市内の二級河川一宮川水系の数箇所河川が氾濫し、3名の尊い命が犠牲となり、浸水区域は約1,200ヘクタールにおよび、約3,700戸の住居等が床上床下の浸水被害を受けました。また、国県道を含む主要な道路が長時間に渡り冠水し、市内の交通網は麻痺状態に陥り、住民活動に大きな影響を与えました。

そこで、更なる流域の安全安心を確保するため、「一宮川水系流域治水プロジェクト」に基づき現在実施している整備事業に加え、今回採択された「河川激甚災害対策特別緊急事業」に位置付けられている河道拡幅や護岸法立て等の対策が着実に実施されるとともに、河川整備計画が未策定である上流域及び支川についても早期の計画策定が望まれております。

また、一宮川水系における中流域は、一宮川本線に支川が集まる地理的要因による浸水リスクがあるため、これらの浸水リスクを解消するため、中流域から太平洋まで伸びる新たな導水路の整備を検討する必要があると考えます。

本市にとって一宮川水系河川の改修は、住民の生命と財産を守るための生命線であり、全市民が一日も早い洪水被害の解消を強く待ち望んでおります。

これらのことから、一宮川河川改修事業の早期完成のため、大幅な予算の増額等の特段のご配慮を賜わり、下記事項を実施されるよう強く要望いたします。

記

1. 地域住民の生命と財産を守り、安全で活力ある経済社会を実現するため、河川整備計画未策定区間の計画策定を早期に行い、「一宮川水系流域治水プロジェクト」による治水事業を強力に推進すること
2. 地理的要因による浸水リスクを解消するため、中流域から太平洋まで伸びる新たな導水路（河川）の整備を検討すること
3. 防災・減災、国土強靱化のための5か年加速化対策に基づき、継続的に事業の推進を図ること
4. 一宮川河川改修事業の早期完成のため、大幅な予算の増額を図ること
5. 事業の実施においては、自然環境や生活環境に十分配慮した対策を講じること

参議院議員
猪口 邦子 様

茂原市議会議員 中山 和夫



二級河川一宮川水系河川の整備促進に関する要望書

本市では、過去に度々浸水被害が発生しており、平成元年8月台風12号、平成8年9月台風17号、平成25年10月台風26号及び令和元年10月25日の大雨と4度にわたり甚大な浸水被害を受けました。

平成元年及び平成8年の水害の際には「河川激甚災害対策特別緊急事業」が実施され、平成25年の台風26号の際には「100ミリ安心プラン」が登録され、二級河川一宮川の改修、堤防の嵩上げ、調節池の増設が実施されているところです。

しかしながら、令和元年10月25日の大雨では、市内の二級河川一宮川水系の数箇所河川が氾濫し、3名の尊い命が犠牲となり、浸水区域は約1,200ヘクタールにおよび、約3,700戸の住居等が床上床下の浸水被害を受けました。また、国県道を含む主要な道路が長時間に渡り冠水し、市内の交通網は麻痺状態に陥り、住民活動に大きな影響を与えました。

そこで、更なる流域の安全安心を確保するため、「一宮川水系流域治水プロジェクト」に基づき現在実施している整備事業に加え、今回採択された「河川激甚災害対策特別緊急事業」に位置付けられている河道拡幅や護岸法立等対策が着実に実施されるとともに、河川整備計画が未策定である上流域及び支川についても早期の計画策定が望まれております。

また、一宮川水系における中流域は、一宮川本線に支川が集まる地理的要因による浸水リスクがあるため、これらの浸水リスクを解消するため、中流域から太平洋まで伸びる新たな導水路の整備を検討する必要があると考えます。

本市にとって一宮川水系河川の改修は、住民の生命と財産を守るための生命線であり、全市民が一日も早い洪水被害の解消を強く待ち望んでおります。

これらのことから、一宮川河川改修事業の早期完成のため、大幅な予算の増額等の特段のご配慮を賜わり、下記事項を実施されるよう強く要望いたします。

記

1. 地域住民の生命と財産を守り、安全で活力ある経済社会を実現するため、河川整備計画未策定区間の計画策定を早期に行い、「一宮川水系流域治水プロジェクト」による治水事業を強力に推進すること
2. 地理的要因による浸水リスクを解消するため、中流域から太平洋まで伸びる新たな導水路（河川）の整備を検討すること
3. 防災・減災、国土強靱化のための5か年加速化対策に基づき、継続的に事業の推進を図ること
4. 一宮川河川改修事業の早期完成のため、大幅な予算の増額を図ること
5. 事業の実施においては、自然環境や生活環境に十分配慮した対策を講じること

参議院議員
元榮 太一郎 様

茂原市議会議員 中山 和夫



二級河川一宮川水系河川の整備促進に関する要望書

本市では、過去に度々浸水被害が発生しており、平成元年8月台風12号、平成8年9月台風17号、平成25年10月台風26号及び令和元年10月25日の大雨と4度にわたり甚大な浸水被害を受けました。

平成元年及び平成8年の水害の際には「河川激甚災害対策特別緊急事業」が実施され、平成25年の台風26号の際には「100ミリ安心プラン」が登録され、二級河川一宮川の改修、堤防の嵩上げ、調節池の増設が実施されているところです。

しかしながら、令和元年10月25日の大雨では、市内の二級河川一宮川水系の数箇所河川が氾濫し、3名の尊い命が犠牲となり、浸水区域は約1,200ヘクタールにおよび、約3,700戸の住居等が床上床下の浸水被害を受けました。また、国県道を含む主要な道路が長時間に渡り冠水し、市内の交通網は麻痺状態に陥り、住民活動に大きな影響を与えました。

そこで、更なる流域の安全安心を確保するため、「一宮川水系流域治水プロジェクト」に基づき現在実施している整備事業に加え、今回採択された「河川激甚災害対策特別緊急事業」に位置付けられている河道拡幅や護岸法立て等の対策が着実に実施されるとともに、河川整備計画が未策定である上流域及び支川についても早期の計画策定が望まれております。

また、一宮川水系における中流域は、一宮川本線に支川が集まる地理的要因による浸水リスクがあるため、これらの浸水リスクを解消するため、中流域から太平洋まで伸びる新たな導水路の整備を検討する必要があると考えます。

本市にとって一宮川水系河川の改修は、住民の生命と財産を守るための生命線であり、全市民が一日も早い洪水被害の解消を強く待ち望んでおります。

これらのことから、一宮川河川改修事業の早期完成のため、大幅な予算の増額等の特段のご配慮を賜わり、下記事項を実施されるよう強く要望いたします。

記

1. 地域住民の生命と財産を守り、安全で活力ある経済社会を実現するため、河川整備計画未策定区間の計画策定を早期に行い、「一宮川水系流域治水プロジェクト」による治水事業を強力に推進すること
2. 地理的要因による浸水リスクを解消するため、中流域から太平洋まで伸びる新たな導水路（河川）の整備を検討すること
3. 防災・減災、国土強靱化のための5か年加速化対策に基づき、継続的に事業の推進を図ること
4. 一宮川河川改修事業の早期完成のため、大幅な予算の増額を図ること
5. 事業の実施においては、自然環境や生活環境に十分配慮した対策を講じること

衆議院議員
角田 秀穂 様

茂原市議会議員 中山 和夫



二級河川一宮川水系河川の整備促進に関する要望書

本市では、過去に度々浸水被害が発生しており、平成元年8月台風12号、平成8年9月台風17号、平成25年10月台風26号及び令和元年10月25日の大雨と4度にわたり甚大な浸水被害を受けました。

平成元年及び平成8年の水害の際には「河川激甚災害対策特別緊急事業」が実施され、平成25年の台風26号の際には「100ミリ安心プラン」が登録され、二級河川一宮川の改修、堤防の嵩上げ、調節池の増設が実施されているところです。

しかしながら、令和元年10月25日の大雨では、市内の二級河川一宮川水系の数箇所河川が氾濫し、3名の尊い命が犠牲となり、浸水区域は約1,200ヘクタールにおよび、約3,700戸の住居等が床上床下の浸水被害を受けました。また、国県道を含む主要な道路が長時間に渡り冠水し、市内の交通網は麻痺状態に陥り、住民活動に大きな影響を与えました。

そこで、更なる流域の安全安心を確保するため、「一宮川水系流域治水プロジェクト」に基づき現在実施している整備事業に加え、今回採択された「河川激甚災害対策特別緊急事業」に位置付けられている河道拡幅や護岸法立て等の対策が着実に実施されるとともに、河川整備計画が未策定である上流域及び支川についても早期の計画策定が望まれております。

また、一宮川水系における中流域は、一宮川本線に支川が集まる地理的要因による浸水リスクがあるため、これらの浸水リスクを解消するため、中流域から太平洋まで伸びる新たな導水路の整備を検討する必要があると考えます。

本市にとって一宮川水系河川の改修は、住民の生命と財産を守るための生命線であり、全市民が一日も早い洪水被害の解消を強く待ち望んでおります。

これらのことから、一宮川河川改修事業の早期完成のため、大幅な予算の増額等の特段のご配慮を賜わり、下記事項を実施されるよう強く要望いたします。

記

1. 地域住民の生命と財産を守り、安全で活力ある経済社会を実現するため、河川整備計画未策定区間の計画策定を早期に行い、「一宮川水系流域治水プロジェクト」による治水事業を強力に推進すること
2. 地理的要因による浸水リスクを解消するため、中流域から太平洋まで伸びる新たな導水路（河川）の整備を検討すること
3. 防災・減災、国土強靱化のための5か年加速化対策に基づき、継続的に事業の推進を図ること
4. 一宮川河川改修事業の早期完成のため、大幅な予算の増額を図ること
5. 事業の実施においては、自然環境や生活環境に十分配慮した対策を講じること

参議院議員
平木 大作 様

茂原市議会議員 中山 和夫



二級河川一宮川水系河川の整備促進に関する要望書

本市では、過去に度々浸水被害が発生しており、平成元年8月台風12号、平成8年9月台風17号、平成25年10月台風26号及び令和元年10月25日の大雨と4度にわたり甚大な浸水被害を受けました。

平成元年及び平成8年の水害の際には「河川激甚災害対策特別緊急事業」が実施され、平成25年の台風26号の際には「100ミリ安心プラン」が登録され、二級河川一宮川の改修、堤防の嵩上げ、調節池の増設が実施されているところです。

しかしながら、令和元年10月25日の大雨では、市内の二級河川一宮川水系の数箇所河川が氾濫し、3名の尊い命が犠牲となり、浸水区域は約1,200ヘクタールにおよび、約3,700戸の住居等が床上床下の浸水被害を受けました。また、国県道を含む主要な道路が長時間に渡り冠水し、市内の交通網は麻痺状態に陥り、住民活動に大きな影響を与えました。

そこで、更なる流域の安全安心を確保するため、「一宮川水系流域治水プロジェクト」に基づき現在実施している整備事業に加え、今回採択された「河川激甚災害対策特別緊急事業」に位置付けられている河道拡幅や護岸法立て等の対策が着実に実施されるとともに、河川整備計画が未策定である上流域及び支川についても早期の計画策定が望まれております。

また、一宮川水系における中流域は、一宮川本線に支川が集まる地理的要因による浸水リスクがあるため、これらの浸水リスクを解消するため、中流域から太平洋まで伸びる新たな導水路の整備を検討する必要があると考えます。

本市にとって一宮川水系河川の改修は、住民の生命と財産を守るための生命線であり、全市民が一日も早い洪水被害の解消を強く待ち望んでおります。

これらのことから、一宮川河川改修事業の早期完成のため、大幅な予算の増額等の特段のご配慮を賜わり、下記事項を実施されるよう強く要望いたします。

記

1. 地域住民の生命と財産を守り、安全で活力ある経済社会を実現するため、河川整備計画未策定区間の計画策定を早期に行い、「一宮川水系流域治水プロジェクト」による治水事業を強力に推進すること
2. 地理的要因による浸水リスクを解消するため、中流域から太平洋まで伸びる新たな導水路（河川）の整備を検討すること
3. 防災・減災、国土強靱化のための5か年加速化対策に基づき、継続的に事業の推進を図ること
4. 一宮川河川改修事業の早期完成のため、大幅な予算の増額を図ること
5. 事業の実施においては、自然環境や生活環境に十分配慮した対策を講じること

令和3年12月22日

参議院議員
竹内 真二 様

茂原市議会議員 中山 和夫



二級河川一宮川水系河川の整備促進に関する要望書

本市では、過去に度々浸水被害が発生しており、平成元年8月台風12号、平成8年9月台風17号、平成25年10月台風26号及び令和元年10月25日の大雨と4度にわたり甚大な浸水被害を受けました。

平成元年及び平成8年の水害の際には「河川激甚災害対策特別緊急事業」が実施され、平成25年の台風26号の際には「100ミリ安心プラン」が登録され、二級河川一宮川の改修、堤防の嵩上げ、調節池の増設が実施されているところです。

しかしながら、令和元年10月25日の大雨では、市内の二級河川一宮川水系の数箇所河川が氾濫し、3名の尊い命が犠牲となり、浸水区域は約1,200ヘクタールにおよび、約3,700戸の住居等が床上床下の浸水被害を受けました。また、国県道を含む主要な道路が長時間に渡り冠水し、市内の交通網は麻痺状態に陥り、住民活動に大きな影響を与えました。

そこで、更なる流域の安全安心を確保するため、「一宮川水系流域治水プロジェクト」に基づき現在実施している整備事業に加え、今回採択された「河川激甚災害対策特別緊急事業」に位置付けられている河道拡幅や護岸法立等対策が着実に実施されるとともに、河川整備計画が未策定である上流域及び支川についても早期の計画策定が望まれております。

また、一宮川水系における中流域は、一宮川本線に支川が集まる地理的要因による浸水リスクがあるため、これらの浸水リスクを解消するため、中流域から太平洋まで伸びる新たな導水路の整備を検討する必要があると考えます。

本市にとって一宮川水系河川の改修は、住民の生命と財産を守るための生命線であり、全市民が一日も早い洪水被害の解消を強く待ち望んでおります。

これらのことから、一宮川河川改修事業の早期完成のため、大幅な予算の増額等の特段のご配慮を賜わり、下記事項を実施されるよう強く要望いたします。

記

1. 地域住民の生命と財産を守り、安全で活力ある経済社会を実現するため、河川整備計画未策定区間の計画策定を早期に行い、「一宮川水系流域治水プロジェクト」による治水事業を強力に推進すること
2. 地理的要因による浸水リスクを解消するため、中流域から太平洋まで伸びる新たな導水路（河川）の整備を検討すること
3. 防災・減災、国土強靱化のための5か年加速化対策に基づき、継続的に事業の推進を図ること
4. 一宮川河川改修事業の早期完成のため、大幅な予算の増額を図ること
5. 事業の実施においては、自然環境や生活環境に十分配慮した対策を講じること

令和3年12月22日

衆議院議員
多ヶ谷 亮 様

茂原市議会議員 中山 和夫



二級河川一宮川水系河川の整備促進に関する要望書

本市では、過去に度々浸水被害が発生しており、平成元年8月台風12号、平成8年9月台風17号、平成25年10月台風26号及び令和元年10月25日の大雨と4度にわたり甚大な浸水被害を受けました。

平成元年及び平成8年の水害の際には「河川激甚災害対策特別緊急事業」が実施され、平成25年の台風26号の際には「100ミリ安心プラン」が登録され、二級河川一宮川の改修、堤防の嵩上げ、調節池の増設が実施されているところです。

しかしながら、令和元年10月25日の大雨では、市内の二級河川一宮川水系の数箇所河川が氾濫し、3名の尊い命が犠牲となり、浸水区域は約1,200ヘクタールにおよび、約3,700戸の住居等が床上床下の浸水被害を受けました。また、国県道を含む主要な道路が長時間に渡り冠水し、市内の交通網は麻痺状態に陥り、住民活動に大きな影響を与えました。

そこで、更なる流域の安全安心を確保するため、「一宮川水系流域治水プロジェクト」に基づき現在実施している整備事業に加え、今回採択された「河川激甚災害対策特別緊急事業」に位置付けられている河道拡幅や護岸法立て等の対策が着実に実施されるとともに、河川整備計画が未策定である上流域及び支川についても早期の計画策定が望まれております。

また、一宮川水系における中流域は、一宮川本線に支川が集まる地理的要因による浸水リスクがあるため、これらの浸水リスクを解消するため、中流域から太平洋まで伸びる新たな導水路の整備を検討する必要があると考えます。

本市にとって一宮川水系河川の改修は、住民の生命と財産を守るための生命線であり、全市民が一日も早い洪水被害の解消を強く待ち望んでおります。

これらのことから、一宮川河川改修事業の早期完成のため、大幅な予算の増額等の特段のご配慮を賜わり、下記事項を実施されるよう強く要望いたします。

記

1. 地域住民の生命と財産を守り、安全で活力ある経済社会を実現するため、河川整備計画未策定区間の計画策定を早期に行い、「一宮川水系流域治水プロジェクト」による治水事業を強力に推進すること
2. 地理的要因による浸水リスクを解消するため、中流域から太平洋まで伸びる新たな導水路（河川）の整備を検討すること
3. 防災・減災、国土強靱化のための5か年加速化対策に基づき、継続的に事業の推進を図ること
4. 一宮川河川改修事業の早期完成のため、大幅な予算の増額を図ること
5. 事業の実施においては、自然環境や生活環境に十分配慮した対策を講じること